

## パイレンチアルミDA(DAL)取扱説明書

### ■はじめに

- (1) この取扱説明書は、MCCパイレンチアルミDA(DAL)の、基本的な操作と安全な取扱方法が記載されております。
- (2) この取扱説明書では、もしお守りいただかないと人身事故につながる恐れのある注意事項は「警告」という見出しの下に記載されています。また、もしお守りいただかないと工具の破損につながる恐れのある注意事項は「注意」という見出しの下に記載されています。
- (3) ご使用にあたっては、この取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで正しく作業を行ってください。この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、このレンチを指定の目的に使用する場合のみに関するものです。  
この取扱説明書に書かれていない使用目的、および締め付け対象材以外のものに使用する場合に、必要な安全に対する配慮は全て、ご自分の責任とお考え下さい。  
この取扱説明書は、実際の作業をされる方がいつも手元においてご使用ください。

### ■使用目的

- (1) 主としてねじ込み式配管における鋼管と管継手のねじ締めを行う工具で、手で持って使用します。

### ■仕様

- (1) 締め付け対象材と締め付け能力 ※このレンチの仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

品名・サイズ	品番	締め付けできる 管・継手の種類	くわえられる管の最大呼び寸法	
			(A) 表示	(B) 表示
パイレンチアルミDAL250	PWDAL25	□配管用炭素鋼鋼管・継手	32A	1¼B
パイレンチアルミDAL300	PWDAL30		40A	1½B
パイレンチアルミDAL350	PWDAL35	□水道用亜鉛メッキ鋼管・継手	50A	2B
パイレンチアルミDAL450	PWDAL45		65A	2½B
パイレンチアルミDA600	PW-DA600	□その他、外側表面に樹脂な どのライニング被覆が施さ れていない鋼管・継手類	80A	3B
パイレンチアルミDA900	PW-DA900		100A	4B

注1. 外側表面に樹脂などのライニング被覆が施されている鋼管・継手類に使用されますとライニング層が剝離したり、管に深い傷が残りますので使用しないでください。

※外ライニング被覆鋼管の締め付けは、MCCの被覆管用レンチをご使用ください。

注2. 既設管の解体やフランジ・角ナット・一部のニップル類などには使用できません。

- (2) レンチの品質はJIS規格パイレンチ強力級の各サイズに相当します。

### ■安全に対する注意事項

#### ▲ 警告

1. 締め付け作業時に締め付け対象材に対してレンチを斜めに取り付けたり、負荷を確認せずに一気に力を加えますと、レンチが空転して大きな災害に結び付くことがあります。レンチをセットする際には、必ず締め付け対象材に対してレンチが直角になるようにセットしてください。又ゆっくりと負荷を確認しながら締め込むようにしてください。
2. 足場の不安定なところでの作業は滑ったり落下するなど大変危険です。正しい姿勢で作業できる安定した足場を確保して、作業を行ってください。
3. このレンチの取扱説明書に表示された仕様の範囲を超えてご使用になりますと、レンチが破損し思わぬ事故の原因となりますので、仕様の範囲を逸脱する使用は絶対にしないでください。

#### ▲ 注意

1. このレンチのハンドルはアルミ製です。必ず取扱説明書に表示された、仕様の範囲で使用してください。このレンチのハンドルや上アゴ・樹脂は、指定の鋼管・継手を締め付けるために製作されたものです。締め付け対象材として指定したものの以外の締め付けや錆び付いたネジの緩め、既設管の解体などに使用されますと工具の破損につながりますので使用しないでください。
2. このレンチを使用してパイプを曲げたり、立てたり、持ち上げたり、またハンマーでレンチを叩いたり、逆にハンマー代わりに物を叩いたりすると、工具の破損につながりますのでしないでください。
3. レンチのハンドルにサヤ管を取り付けたり、改造したりすることは工具の破損につながりますので絶対にしないでください。
4. レンチは常に点検および作動部への注油を行い摩耗・損傷のある状態では使用しないでください。

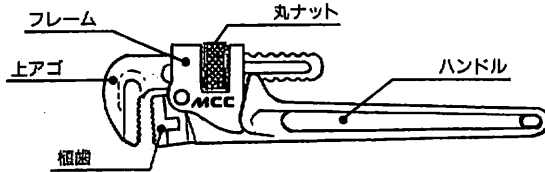
## ■ 日常の点検・メンテナンス

- ① 上アゴや歯歯にコンクリートやコーキングなどの異物が付着していないか、歯の山は摩耗したり、欠損していないかを確認してください。
  - 異物が付着している場合は、ワイヤーブラシ・ウエスなどで取り除いてください。
  - 付着物が除去できない場合、および歯の山が摩耗したり欠損している場合は、修理をご依頼ください。
- ② 各部のピンは緩んだり、外れたりしていないか、正常に作動するかを点検してください。
  - もし異常があれば修理をご依頼ください。
- ③ 工具への注油は常に行ってください。

## ■ 作業を行われる前に

- ① 保安帽・安全靴・作業用手袋などを着用し、正しい服装を心がけてください。
- ② 床面の油や障害物で滑ったり、つまづいたりしないように作業場所を整頓し安定した足場を確保してください。

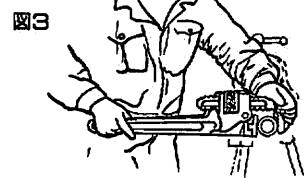
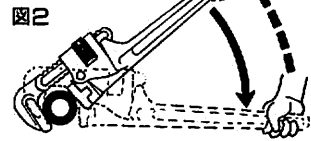
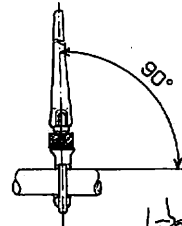
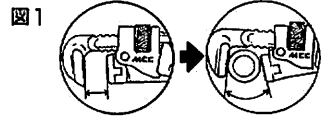
## ■ 各部の名称



## ■ 操作方法

### 締め付け基本操作手順

- ① 締め付けようとする管または継手に適合するサイズのパイプレンチをご使用ください。
- ② 図1のように歯部が開いた状態にして、歯の中央部でレンチが対象材に対して直角に噛むように丸ナットを回して調整してください。
  - 注：この工具は、ハンドルの反復運動で締め付ける機構となっていますので、反復運動を繰り返すうちに丸ナットが緩み空転することがありますので注意してください。
- ③ セットが終わりましたら図2のような姿勢でパイプをくわえ、図3のようにハンドルを動かして締め付けを行います。
  - 注：実線矢印の方向が締め付け、破線矢印のほうが戻しになります。締め付け方向へ力を入れるときは、しっかり噛んでいるかどうか負荷を確認しながらゆっくりと力を入れ、締め付けてください。
- ④ 締め付けが終わりましたら、破線矢印の方向へハンドルを戻しながらレンチを取り外してください。
- ⑤ 締め付けは継手サイズごとの適正なトルク（継手メーカー推奨値）で行ってください。締め付けが終わりましたら、トルクレンチなどで締め付けトルクを確認することをお勧めします。



株式会社 MCCコーポレーション  
株式会社 松阪鉄工所

☎ (059) 234-2454

<http://www.mccc corp.co.jp>